



あさひやま
どうぶつえんだより

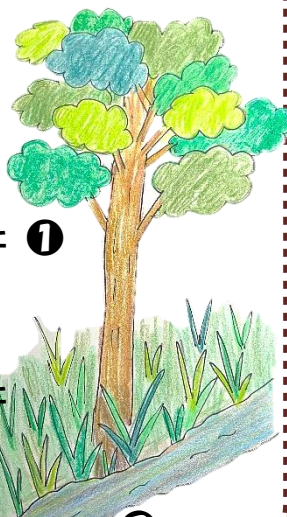
もんだい

熱帯雨林の森にすむオランウータンはとても数が減っていて、近い将来、地球上から絶滅してしまう危険があるんだ。どうしてこんなにオランウータンが減ってしまったのでしょうか？

木が少なくなってきた ①

草が少なくなってきた ②

水が少なくなってきた ③



ドーネ／メス

旭川から飛行機で12時間かかる国、マレーシアのボルネオ島にある「セビロック・リハビリテーション・センター」で保護され、1999年にいしかわ動物園にやってきた1996年(推定)生まれのメス。1990年代、ボルネオ島ではアブラヤシのプランテーション(大型農場)の開発がとて進んでいて、多くの森が畑に変わっていききました。それと同時にたくさんのオランウータンの子どもが親とはぐれてしまい、センターに保護されたそうです。「ドーネ」はそんな悲しい生い立ちのある日本で1頭だけの野生の個体です。

だい
138
ごう

ボルネオ オランウータン

11/4、いしかわ動物園から旭山動物園にやってきたボルネオオランウータンの「ドーネ」は「モリト」のおよめさんになるためにやってきました。

屋内放飼場を
探検する「ドーネ」



ほっかいどう
北海道

モリト(森人)／オス

2007/7/30旭山動物園生まれ。お父さんの「ジャック」は2024年に、お母さんの「リアン」は2019年に亡くなりました。妹の「モカ(森花)」(2015/2/5生まれ)は11/7にいしかわ動物園に引っ越ししました。お母さんの「リアン」が亡くなったあと、まだまだお母さんが必要な子どものモカの世話をしていた優しいオスです。オスのほっぺたに出てくる「フランジ」もりっぱになりました。

こたえ

こたえは「①木が少なくなってきた」だよ。森にすむオランウータンは高い木の枝に葉っぱをしいて、ベッドがわりにしているよ。ほとんど地上においてこないオランウータンは、高い木がないと生きていけないんだ。



オランウータンは、手と足で木の枝をにぎって移動することができるよ。

ボルネオ島

